

# 朝日の山並み



所報 第180号  
(令和6年3月)



山形県朝日少年自然の家  
《指定管理者》(株)ヤマコー

990-1101 西村山郡大江町大字左沢字楯山 2523-5  
TEL:0237-62-4125 FAX:0237-62-4126

## よりよい朝少に～運営懇談会より～

2月15日に今年度の朝日少年自然の家運営懇談会が行われ、出席された関係機関の代表の皆様から貴重なご意見をいただきました。これらのご意見を踏まえながら、来年度の施設及び事業の運営にあたっていききたいと思ひます。

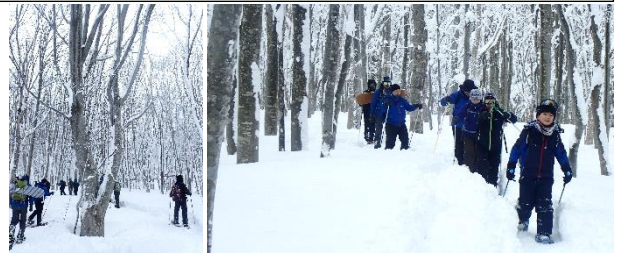
### 【委員の皆様からいただいたご意見】

- ・コロナ禍で体験活動が後回しになっているので、社会教育全体として体験活動の大切さを、もう一度見直していかなければならないと思ひます。
- ・セミナーや研修会の機会を充実して、若い指導者が安全に安心して利用できるようにしてほしいと思ひます。ここで指導者が様々な人と交流を持ち、社会性を育てるという点でも自然の家は活かせると感じています。
- ・若い指導者にとっても自然を体験することは大切です。指導者の経験が指導につながり、子どもたちの成長につながると考えています。
- ・間接指導について、「親切さがなくなった」などの声が挙げられるが、宿泊学習などの引率の機会は若手の教員にとっては成長のチャンスなので、校長会などで話をしてお互いの理解を深められればと思ひます。
- ・今の子どもは指導者が設定しないと外遊びをしません。自然の家の良さは地形を生かした自然を感じるができることであり、外遊びの少ない子どもにとって自然の家での経験が原体験になる貴重な機会となっていると思ひます。
- ・小学生の時に利用した子どもが、大人になってボランティアとして戻ってくる流れを作れたらいいと思ひます。
- ・安全面の配慮は必要ですが、自然には冒険心をくすぐるものがあり、ダイナミックさはなくさないでほしいと思ひます。
- ・高齢化・少子化の中で、高齢者などを受け入れるようなプログラムも考えていく必要もあるのではないかとと思ひます。
- ・自然の家は国の史跡に囲まれ、散策コースが整備されているので、プログラムにおいても上手に活用し、町と連携して魅力を生かして欲しいと思ひます。

## 月山ブナ雪原を歩く

今年度最後の企画事業である朝日わくわく広場⑨「積雪5mの世界で思いっきり遊ぼう！」が3月2日に開催されました。隠れ積雪量日本一ともいわれる西川町の月山山麓のブナ雪原を、スノーシューを履いて散策しました。いつもはこの時期5mほどの積雪があるそうですが、今年は暖冬で約2mしかない状況でした。

当日は季節外れの荒天でルートを変更しての実施となりましたが、参加者の皆さんはふかふかの新雪の上を歩いたり、うさぎの足跡やくまが木を引っ掻いた跡を見つけたりして、ブナ雪原を楽しむことができました。



朝少の企画事業等の情報はコチラ👉

ホームページ

Instagram



@ASASYO\_YAMAGATA

### 1階男女トイレすべてが洋式に

秋から行っていた1階の男女トイレの洋式化工事が終了し、先日から使用できるようになりました。1階のトイレはすべて洋式化され、使いやすくなりました。

令和5年度もたくさんの団体から当自然の家をご利用いただき、ありがとうございました。

所報『朝日の山並み』では、これからも事業の様子や活用の仕方、自然体験の大切さなどを、皆様にお伝えしていきたいと思ひます。